

平成29年度 第5. 6学年 家庭科 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した工夫と課題	課題を受けた今後の改善策
5・6年	【課題】 (裁縫) ★自分一人で取り組みない児童が少なからずいる。自ら理解し、考え、課題に向かえるようにしていきたい。 ・途中までも、自力で取り組もうとする意欲をもてるようにする。 (調理) ★役割分担や意見の調整がスムーズにできるようにし、調理実習の活動内容に全員が参加でき、豊かで効果的なものにしたい。 ・個人のワークシートに自分の考えを書き、班での話し合いのときに活用できるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・一人一人が2時間の見通しをもって活動できるように、活動の流れとポイントが分かるように板書の工夫をしている。 ☆補助教材の活用 ・つまずきやすい部分を拡大して、黒板等に掲示する等、見ることで学習内容を分かりやすく理解できるように掲示物の工夫をしている。 ☆相互の学び合いと手立て ・その日の達成目標をはっきりさせることで、グループの中で、助け合えるようにしている。 ・各自でふり返りができるように、ノートやワークシートの内容を工夫している。	(裁縫) A指導目標の明確化と学習の見通し ・単元の学習の見通しをもてるように、できる限り見本を用意し、意欲付けをする。 ・2時間の学習のめあてが達成できるように、教師が各班を回っているときに、学習や作業の見通しについて個別の支援を行う。 D補助教材の活用 ・手縫いの基本となる玉結び・玉止めは、確実に身に付けられるように、動画を有効利用する。 ・ミシンの扱いで分かりにくい部分は、常時掲示して、各自で確認し、自信をもって取り組めるようにする。 E相互の学び合いと手立て ・早く作業が終わった児童をミニ先生として、班内の教え合い活動を促す。 (調理実習) B教材の開発と工夫 ・役割分担で児童がやりたいと思われる活動に関しては、可能な範囲で希望を生かすことで、自主性や課題意識を高める。 D補助教材の活用 ・ワークシートを活用し、教材への理解を促すとともに、事前の計画の段階で役割分担をして、全員が自信をもって活動に関われるようにする。 E相互の学び合いと手立て ・グループの中での助け合いや教え合いを推進し、全員がかかわれる調理実習にする。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		